

委員会 送付26-8

学校給食の献立を可能な限り無農薬無添加の食材を使った和食にするように求める陳
情

受付年月日 平成26年3月14日

陳情者

陳情書

(趣旨)

昨年、和食が世界無形文化遺産に決まりましたが、日本人の和食離れは進んでいます。

戦後のパン食給食の影響が大きく、日本人の米離れが進み、パン食、肉食などの洋食文化が広まり、食料自給率も低下してしまいました。

日本人が和食を知らないのも当然です。子供の頃から、学校給食で、ちゃんと和食を食べておらず、栄養重視だったり、濃い味、甘い味の子供好みの給食ばかりを食べているからです。

これでは、大人になった時、ジャンクフードが好きになっても無理ありません。

フランスでは学校給食でフルコースを食べるそうです。学校給食を通じて、小さい頃からフランス料理を学ぶそうです。

日本人が和食を知らず、ハンバーガーやラーメンばかり食べるというのは、日本人として何とも悲しい事です。

外国人に和食について聞かれた時、知らないなんて答えたら、日本人として恥ずかしいです。情けないです。世界無形文化「遺産」という事ですが、「遺産」という言葉を辞書で調べると、「前代の人が残した業績」と書かれています。

私たちの代で「和食」を終わらせるような事があつては、前代の人に顔向けできません。次の世代の日本人にも和食を伝えて行くことが、我々世代の責務だとも思っています。

戦後、食糧難の時は、パン食、乳製品等、洋食の学校給食も致し方なかったと思います。しかし、今の日本で、パン食など洋食にこだわる必要は無いと思います。

昔の屈強な日本人は和食を食べていました。洋食じゃないと栄養面を確保できないという事は無いはずです。

もし、世界の色々な食文化も学ぶために洋食も学校給食で提供しなければならないのだとしたら、それは、社会人になって、自分のお金で食べに行けばいいと思います。

人はご飯を食べないと生きていけません。それほど食というのは大事なものだと思います。にもかかわらず、インスタント商品などで済ましたりしている人は多いと思います。体に摂り入れるものですから、何を食べるかちゃんと考えるようにするべきだと思います。インスタントでもいいですけどもどうせ食べるなら、食品添加物や農薬を可能な限り使っていない食材の方がいいに決まっています。予算もありますけども、生徒には、可能な限り、安全安心な給食を食べて欲しいと思っています。

小さい頃は食育として、生徒に学校給食を通じて、和食を学んでほしいです。

平成26年3月14日

千代田区議会議員 嶋崎 秀彦 殿